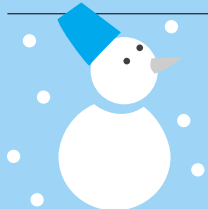


INTER KYOTO

インターキョウト



2006.1.31 No.28

社団法人京都府情報産業協会
発行：広報委員会

新春特別対談

IT産業の発展が京都の未来を拓く

平成18年を迎え、高度な情報化社会の発展を支える“IT”が果たす役割はますます重要なものになりつつあります。年頭を飾る新春対談では、京都府のIT政策を推進する伊藤秀一氏をお迎えし、情報技術による新たな暮らしの創造と地域の魅力づくり、ユビキタス社会に向けての展望などをお伺いしました。



対談者

伊藤 秀一氏
京都府企画環境部 IT政策監

植田 弘毅氏
社団法人京都府情報産業協会 会長



府民一人ひとりがメリットを共有できるITシステムづくり

植田 新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。さて、昨年未ぐらいから景況が上向いてきたと言われるようになりましたが、私たち中小企業に波及するには今一歩というのが実情です。一方、地方自治体に於いては、地方財政の硬直化など様々な課題が山積している中で、京都府では、全国的にみても先進的なIT施策に取り組んでおられますが、これまで中小企業の活性化などにどのような成果が表れたとお考えですか。

伊藤 2007年、団塊の世代が大量に退職する人材流動化時代を迎えます。労働力が不足する中で、私たちの社会を発展させていくために、ITは重要なツールの一つになってい

くのではないのでしょうか。京都府では、IT関連施策のエポックとして、府域を24ギガのメガ幹線で結ぶ「デジタル疎水ネットワーク」に取り組んできました。当初の予想を大きく上回り、民間レベルでの活用が進んでいます。例えば、NHK京都放送局やKBS京都などの地方局では、テレビ放送とデジタル疎水ネットワークの融合によって、低コストでしかも高品質な情報提供を行っています。また、医療分野においても、京都府立医科大学とその提携医療機関をブロードバンドで結んだ遠隔画像診断を実現しました。今後、さらにIT活用のすそ野は広がっていくと思います。

植田 最近、災害など緊急時の情報共有をどのようにするかが問題となっていますね。関東大震災で二次的な被害が拡大したのは、情報が等しく正確に伝わらなかったからだという指摘もあります。府民一人ひとりが情報社会のメリットを実感できるような、インパクトのあるインフラ整備に取り組んでいくことも重要ではないのでしょうか。

伊藤 そうですね。私たちが来年度から試験的に取り組みたいと考えているのは、デジタルテレビを使った情報発信です。ご存知のように、2011年にはテレビ放送がすべてデジタル放送になります。そうすると、デジタルテレビのデータ放送機能を活用して、例えば、災害が発生したときに、関連情報が自動的にデータ放送で流れて、テレビ画面を通して情報を共有することができるようになります。ぜひ、京情協の会員の皆さんの知恵をお借りしながら、ITを使った新しいシステムを構築したいですね。

ユビキタス社会の実現に向けて 官民一体となった取り組みを

植田 京都府の山田啓二知事は、行政施策の基本に「住民本位」を掲げ、これを実現するために「情報の共有化」と「行政の透明化」ということをおっしゃっておられます。IT政策監の立場から、これらの課題を実現していくための具体的なプロセスはどのようなものだとお考えですか。

伊藤 10年ほど前から、京都府でも情報公開に積極的に取り組んでおり、私たちのホームページからかなりの情報が得られるようになってきました。例えば、京都府アクションプランで検討された内容やパブリックコメント（府民の意見）それに対する府の回答、あるいは府議会の議事録などもインターネットを介して瞬時に確認することが可能です。これまでは膨大な閲覧資料を一つずつ調べて必要な情報を得るというものでしたが、ITの普及によって情報の共有化が大きく進み、行政の透明性も増したのではないかと思いますね。

植田 ユビキタス社会が到来したと言われますが、確かに産業面から見れば、ICタグや無線LAN、PLC（高速電力線通信）などを利用したシステムから更に様々な技術開発の可能性が議論されています。しかし、行政面では総務省のU-Japan政策をトップに地方自治体がどのように関わり、どのようなユビキタス社会が形成されていくのかというマスタープランが府民の立場からは見えていないように思うのですが。

伊藤 ユビキタスというのは、だれでも、いつでも使えるという意味ですが、「だれでも使える」とことと「何にでも使える」ことは相反することが多いものです。例えば、パソコンは非常に利便性の高いツールですが、うまく使いこなせない人も多そうですね。ケータイ電話はメールやカメラ機能などが付加されてどんどんと進化しましたが、最近では通話だけのシンプルなケータイが販売されて人気を呼んでいます。ユビキタス社会の本当の目的は、一人ひとりの生活に適應したIT技術を提供していこうというものではなく、京情協ではデジタルデバインド（情報格差）の解消を



指して努力されていますが、京都府としても府民の意見や要望を施策に反映していくなど、真のユビキタス社会実現に向けて取り組みを進めていきたいと考えています。

IT企業が個性を発揮することで 地域の特色を発揮

植田 もう一つ、今後のIT産業の振興策についてお伺いしたいと思います。地方分権の時代を迎えますが、ぜひ地域の特性を生かした大胆な仕組みを期待したいですね。例えば、繊維製品の町として知られるアメリカ・ボストンでは、洋服を買っても税金がかからないなど、ソフト面、ハード面において独自施策を推進しています。IT分野においても、こういう魅力的で思い切った取り組みを考えられないでしょうか。

伊藤 京都府では「ITバザール構想」の一つの事業モデルとして、「ケータイ国際フォーラム」の開催に力を注いでおり、今年で第5回目（3月15～16日：於パルスプラザ）を迎えます。情報機器コンテンツの発信地として、京都の知名度は高まりつつあるのではないのでしょうか。また、京都リサーチパークには、ベンチャー精神あふれる情報関連企業がたくさん集積していますね。こうした企業がそれぞれ個性を発揮することによって、京都ならではの新しい技術やサービスが生まれ、それが地域の特色につながっていくのだと思います。

植田 これからも京情協の設立理念である「地域貢献」に寄与するために、ITに関する様々な技術・ノウハウを地域産業の発展や府民生活の向上に役立てていきたいと思えます。何卒、昨年にも増してご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

（平成17年12月13日 京都電子計算㈱ 応接室にて開催）

新春オープンセミナー・賀詞交歓会 開催報告

日 時：平成18年1月17日(火) 16:00~19:30
 場 所：平安会館 白河の間
 テーマ：「夢を翼にのせて」～CS世界ナンバーワン空港を目指す～
 講 師：中部国際空港(株) 取締役専務執行役員 廣地 義範 氏
 参加者：82名

平成18年を迎え、恒例の新春セミナー・賀詞交歓会が開催されました。セミナーでは、地域の民間活力を生かして設立・運営された中部国際空港(セントレア)の廣地取締役専務執行役員をお招きし、競争力のある空港を作るためにどのような意識改革を進めてきたのか伺いました。



中部国際空港の経営ノウハウを知る



講師の廣地義範氏

た。「過大な設備を作らずに、マーケットと共に成長していくという理念(段階建設)を取り入れられ、価格の競争ではなく、「知恵の競争」に取り組むことが大切」であると廣地氏。企業経営の付加価値創造に役立つ内容で、参加者は熱心に聞き入っていました。

セミナーに引き続いて、賀詞交歓会では、京都府・市のご来賓による挨拶の後、会員相互の情報交換が行われ、親睦が深められました。



賀詞交歓会で京情協の発展を誓う植田会長

経済産業省情報化月間協賛

主催：技術委員会

京都情報化フォーラム 開催報告

日 時：平成17年10月14日(金) 16:00~17:30
 場 所：平安会館 白河の間
 テーマ：「ケータイビジネスを取り巻く環境とモバイルソリューションの新展開」
 講 師：(株)NTTドコモ関西 ソリューションビジネス部
 ソリューション技術部長 片山 龍夫氏
 参加者：81名(会員47名、会員外34名)



10月の経済産業省情報化月間協賛行事として、「ケータイビジネスを取り巻く環境とモバイルソリューションの新展開」についてのオープンフォーラムを開催しました。

携帯電話の機能の多様化により、ケータイビジネスを取り巻く環境が大きく変わろうとしています。このケータイビジネスおよびモバイルソリューションに視点を置き、「使うケータイ」から「生活に役立つケータイ」へ、多彩になったケータイサイトの更なる発展、「通信端末」の枠にとらわれない「生活端末」への発展といった、今後の情報産業界にとって新しいビジネス展開の一つとして期待がもてる興味深い講演内容でした。



講師の片山龍夫氏



フォーラムに続いて会員懇親会を開催

景気短観会 懇談会 開催報告

主催：経営委員会

日時：平成17年11月17日(木) 14:00～16:00

場所：京都全日空ホテル 2F 醍醐の間

出席者：木村 道也(竹菱電機) 藤関 治清(ユニシス)
小島耕一郎(近畿リサーチセンター) 相原 義一(バンテック)
荒木 陽治(テクノスタッフ) 山本 治(京信システムサービス)
棕田 稔夫(ワールドビジネスセンター) 岡本 久(NTT-COM)
京都府中小企業技術センター 企画総務部 企画情報室 情報・調査担当 東 秀行

社団法人京都府情報産業協会では、年5回定例の経営委員会を開催し、内4回において京都府中小企業技術センター様主導で「景気短観調査」を行っています。

「景気短観調査」は各会員への事前アンケート調査とそれに基づく経営委員の報告形式で行っています。今回は19社からアンケートの回答をいただきました。アンケート調査内容については、前年同期比と前四半期比について調べています。項目は 商談案件状況 受注状況 営業利益率 今後の受注見通しの4項目で、それぞれ 増加 やや増加 横ばい やや減少 減少の5種類から選択することになっています。

第3四半期(10～12月)は前年同期・前四半期に対し営業利益率は横ばいですが、案件数・受注状況・見通しについては、5割前後が増加傾向でした。また、京都府中小企業技術センター様からの参考資料(東京・大阪・兵庫の景気動向調査結果)では、好況傾向になりつつある状況が読みとれました。

なお、景気短観調査結果は、京都府産業支援センター発行の「クリエイティブ京都M&T」2006年1月号に掲載されています。

アンケート集計

10～12月状況(昨年同時期比較)

(単位：会社数)

| 項目 | 増加傾向 | 横ばい | 減少傾向 | 計 |
|-------|------|-----|------|----|
| 商談案件 | 9 | 8 | 2 | 19 |
| 受注状況 | 10 | 6 | 3 | 19 |
| 営業利益 | 2 | 13 | 4 | 19 |
| 受注見通し | 10 | 8 | 1 | 19 |

10～12月状況(7～9月比較)

(単位：会社数)

| 項目 | 増加傾向 | 横ばい | 減少傾向 | 計 |
|-------|------|-----|------|----|
| 商談案件 | 10 | 6 | 3 | 19 |
| 受注状況 | 9 | 6 | 4 | 19 |
| 営業利益 | 2 | 15 | 2 | 19 |
| 受注見通し | 7 | 11 | 1 | 19 |

第3回・第4回 経営研究会 開催報告

主催：経営委員会

第3回経営研究会



講師の植村憲三氏

開催日時：平成17年10月20日(木) 15:00～17:00

場所：京都全日空ホテル 醍醐の間

テーマ：「企業価値を高めるためには
～財務上強化すべきポイント～」

講師：京都信用金庫OB 植村憲三氏

参加者：12社 20名

業績不振に陥った企業をどのように再生していったのかについて、実例をもとにお話いただきました。詳細なお話の中から、いかにして企業を強化するのかを具体的に学ぶことができました。



企業強化の具体策を学ぶ

第4回経営研究会

開催日時：平成17年11月17日(木) 16:00～18:00

場所：京都全日空ホテル 醍醐の間

テーマ：「定年延長 ～時は今 継続雇用の65歳～」

講師：(社)京都府高齢者雇用開発協会
アドバイザー 尾崎泰雄氏

参加者：16社 25名

今年度最終回の経営委員会でしたが、参加人数が最も多い会となり、各社の関心の高さが伺えました。継続雇用制度の概要から、高齢者の雇用継続について、これから企業が取り組むべき事柄について、さらには技能伝承についてまで、非常に盛りだくさんの内容でした。講師の先生も非常に熱心にお話いただき、2時間があっという間に過ぎました。



タイムリーな話題に関心の高さが伺える

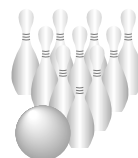


講師の尾崎泰雄氏

第8回 親睦ボウリング大会を開催



平成17年11月18日(金) 第8回親睦ボウリング大会が「MKボウル上賀茂」で開催され、19チーム57名の参加者により熱戦が繰り広げられました。今回も前回に引き続き、優勝候補のチームを中心に一喜一憂の伯仲したゲーム展開となりました。競技の後の表彰パーティも含め、参加企業ならびに参加者同士の親睦交流が大いに図られました。



| | | | |
|------|-----|----------------|------|
| 団体の部 | 優勝 | 京都コンピュータ学院A | 968点 |
| | 準優勝 | 京都電子計算(株) | 967点 |
| | 3位 | オムロンソフトウェア(株)B | 955点 |

| | | | |
|------|-----|-------|----------------------|
| 個人の部 | 優勝 | 長谷川幸子 | 394点(京都電子計算(株)) |
| | 準優勝 | 深松 正 | 389点(オムロンソフトウェア(株)B) |
| | 3位 | 上田 治文 | 356点(京都コンピュータ学院A) |

団体優勝 喜びの声

上田治文さん 優勝できたのは、メンバー3人が平均して力を出したことと、ハンディ・キャップが大きかったからだと思います。次回はハンディ・キャップなしでも入賞できるようにもっと頑張りたいですね。

李 章弘さん 古豪、強豪を抑えての団体優勝、とても嬉しいです。自身の得点は不本意でしたが、他のメンバーのお陰で優勝させてもらえました。次回このカップを持ち帰れるよう頑張ります。



中川由美さん 優勝なんて感激です。表彰式で呼ばれて信じられませんでした。ハンディとチームメイトのお陰と感謝しています。スコアが悪くても楽しめるボウリング。でも、スコアが良いとさらに楽しいですね。

個人優勝 喜びの声

長谷川幸子さん



個人優勝、個人女子優勝、団体準優勝とひと揃えいただき、大変恐縮しています。ただ、今回は団体3位だったので、一つ上位が取れるようチームワークだけではどこにも負けないくらいの意気込みで参加したのですが、団体準優勝という結果につながったのではないかと考えています。次回は、団体優勝の「ガラスのカップ」をいただけるよう練習をして参加しようと思います。本当にありがとうございました。

ケーケーシー情報システム 情報セキュリティ監査事業を開始!

(株)ケーケーシー情報システムでは、特定非営利活動法人日本セキュリティ監査協会(JASA)が創設した「公認情報セキュリティ監査資格制度(CAIS)」において平成17年9月末公認情報セキュリティ監査人2名の合格者を出した。

これを機に、これまでに合格したITコーディネータやシステム監査、システムアナリスト、情報セキュリティアドミニストレータ9名の合格者に加え監査事業への取組みを目指していたが、平成18年1月、自治体の委託を受け、監査事業を開始させた。

同社は長年にわたり自治体や一般企業のシステム構築に携わってきた技術力や専門知識を基盤に質の高い監査サービスを実施し、セキュリティという側面からも地域社会に貢献したいと意欲的に取組みを始めた。

京都市上京区千本通元誓願寺上る南辻町369番地の3

TEL 075-465-6700

URL <http://www.kkcjoho.co.jp/>

情報セキュリティ監査企業台帳

<http://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/is-kansa/index.html>

認証取得

| | | | |
|--------------|------------|---------------|-------------|
| プライバシーマーク | 平成11年11月1日 | ISMS | 平成15年11月21日 |
| ISO9001:2000 | 平成15年2月21日 | ISO14001:2004 | 平成16年6月18日 |

JASAは、2003年4月1日に経済産業省が施行した「情報セキュリティ監査制度」を着実に浸透させていくための運営体として設立された団体。

(株)システムディが 平成17年度京都中小企業 優良企業表彰を受賞

京都府から京都産業の振興に貢献した中小企業におくられる、京都中小企業優良企業表彰(小売・サービス業等部門)を(株)システムディが受賞しました。



平成十七年十一月二十九日に
行われた表彰式
(京都府山田啓二「知事より表彰
を受ける堂山道生代表取締役」)



協会だより

正会員 59社
特別会員 1名
賛助会員 7社

事業推進委員の積極的な会員増強運動により
成果を得ることができました。
会員の皆様も入会紹介、勧誘にご協力下さい。

お知らせ

SE研究成果発表会 開催 技術委員会

開催日時：2月8日(水) 18:00~19:00
場 所：平安会館 3階 羽衣の間
テ - マ：「品質」「情報セキュリティ」「新技術・
開発効率」の3研究会からの報告

第2回情報交換広場 開催 経営委員会

開催日時：2月16日(木) 16:30~18:30
場 所：ぱるるプラザ京都
テ - マ：「個人情報保護法施行後の各社の
取組について」

技術セミナー 開催 技術委員会

開催日時：2月10日(金) 15:30~17:00
場 所：平安会館 2階 白河の間
テ - マ：「ユニバーサル・コミュニケーション
技術の将来イメージと推進方策」
講 師：総務省情報通信政策局 技術政策課
技術企画調整官 平 和昌氏

平成17年度 第2回通常総会 開催

開催日時：3月28日(火) 15:00~
場 所：平安会館 2階
テ - マ：1. 通常総会 白河の間 15:00~
「平成18年度 事業計画・予算
などについて」
2. 会員懇親会 朱雀の間 17:45頃~
(総会終了後)

白石名誉会長 平成17年度

「京都府産業功労者表彰」受賞!

京都府産業功労者表彰制度は、商工業団体の運営又は事業活動等を通じ、京都府の産業の発展に大きく貢献された方々を表彰するもので、昭和56年から実施されています。

平成17年11月30日(水) 午前11時から、京都府公館1階「レセプションホール」(京都市上京区烏丸一条下ル)において、元京都府情報産業協会会長 白石雪翁氏(現名誉会長)が受賞。山田京都府知事から表彰状が授与され、功績を講えられました。



アド・プロヴィジョン(株) HPコンテストで「最優秀賞」受賞!

アド・プロヴィジョン(株)が企画・構築した三共精機(株)のWebサイト(ブログ複合型企業Web)が京都商工会議所「2005年中小企業のためのホームページコンテスト」法人の部で「最優秀賞(近畿経済産業局長賞)」を受賞しました。

(三共精機ホームページ <http://www.sankyo-seiki.com>)

このWebの製作、導入事例は“京都ビジネス交流フェア2006”での第3回情報化プラザ(ITツール活用WORK SHOP!!特別編)「中小企業はこんなITで経営課題を解決しました!」で紹介されます。

日時：2月23日(木) 13時~ 会場：国立京都国際会館

主催：京都府、(財)京都産業21

共催：京都インターネット利用研究会

(京都ビジネス交流フェア2006：<http://www.ki21.jp/bp2006/>)

編集後記 インターキョウト新春号、いかがでしたでしょうか。今年も皆さまのお役に立つ情報を配信していきたいと思っておりますので、引き続きご愛読をよろしくお願い致します。ご意見等がありましたら、事務局までお寄せください。皆さんからの、鋭く、厳しく、そして温かいご意見をお待ちしています。(広報委員会)

京情協 WEB CONTENTS <http://www.kyojyokyo.or.jp>